

## 「SUITA DAYをどうするでい」記録

- 日時：2021年5月1日（土）14:00～15:30
- 場所：オンライン会議システム ZOOM
- 参加者：9人

※（進行）は進行役の発言、●はその他の参加者の発言です

### 1. チェックイン

（進行）コロナ禍をうけ、ラコルタでもオンラインでの講座や交流会をしていますが、まだ不慣れな点も多く、進行の下手際もあると思いますが、温かい目で見てください（笑）。11月に「SUITA DAYを考え直してみる DAY」という場を持ち、コロナ禍でそもそもイベントをどうするかについて、参加者のみなさんと話しあいました。今日は、その続きとしてとらえていただければと思います。

また、今後、「SUITA DAY」に関する話しあいの場では記録をとり、ホームページ等に掲載して共有していきたいと考えています。誰が何を言ったかなど個人が特定されるような形にはしないので、安心してお話しいただければと思います。

本日の流れですが、オンラインでの話しあいのご経験はみなさんそれぞれだと思いますので、はじめに ZOOM に慣れるための時間を取りたいと思います。その次に自己紹介、それから「SUITA DAY」の経緯の説明と、11月の「考え直してみる DAY」をふまえてラコルタとして話しあってきた内容について提案させていただき、皆様のご意見をうかがえればと思います。

オンラインでは無表情のままだと不安になるので、リアクションを意識していただくと皆が話しやすくなります。また、お手洗い行くよ、電話がかかってきた等の場合はマイクをオフにしてご自由に席を離れてください。何かコメントや質問があればチャットも活用ください。

- チャットって何ですか。

（進行）文字でやりとりする機能です。画面の下のほうに、吹き出しのようなマークがあると思いますが、それでやりとりができます。

- チャット…ないなあ。

**(進行)** チャットの練習をしてみましょうか。「コロナが落ち着いたらこんなことしたい」というのをチャットに打ち込んでください。

【チャット機能練習タイム】

## 2. 参加者の自己紹介

**(進行)** お名前、団体からご参加の場合は団体名、参加の動機の3つをお話してください。

- 吹田市内で活動している環境団体です。宣伝ですが「吹田のレッドリスト」という本が完成しました。団体から「行ってこい！」と言われて参加しました。
- 手づくりのおもちゃを子どもたちに教えています。コロナ禍で活動が全くない状況です。3月2日に不特定多数を対象にしたイベントを行いました。安全面に非常に気を遣いました。
- 児童養護施設で里親支援に携わっています。以前に実施されていた「かえっこバザール」というイベントで里親制度の紹介コーナーを設定してもらっており、そのつながりで参加しています。里親というと養子縁組のイメージがありますが、一時的に預かる仕組みもあり、その普及に努めています。
- 前任者からあまり引継ぎをしていないまま参加している状態です。がん患者や家族のピアサポート、勉強会などを行っています。会員の平均年齢が高く、オンライン会議が苦手な人が多いので、総会への出席者が減りました。いつも公共施設を利用していますが、WI-FI 設備がないところが多くてびっくりしています。オンラインに慣れる、慣れない以前に、通信環境の課題は大きいと思いました。

**(進行)** ラコルタの会議室ではネットが使えるのでぜひ活用ください。

- ビデオ開始のボタンを押しかねているんですけど… (笑)。コロナ禍がまだまだ続きそうですね。「SUITA DAY」は分散してやると聞いたけれど、どこも大勢が集まるイベントが中止になっているなかで、どういった形があり得るのかと。例えば、一つのものを時間

差で完成させていくようなもの、「平和」をテーマにものをつくりあげていくとか、コロナ禍のみんなの気持ちを明るくするものもいいのでは。

- 今日は自宅から参加しています。吹田に来て間もないので、いろんな団体さんの活動を知りたいと思っています。
- 音声不調のため、チャットで参加します。

### 3. これまでの SUITA DAY のふりかえりと意見交換

**(進行)** 昨年の11月にコロナ禍でこれからどうしていきましょうか、というお話をしまして、それを踏まえてラコルタから提案させてもらえればと思っています。

#### 【経緯のふりかえり】(レジュメ)

**(進行)** 11月の話しあいの結果をうけて、ラコルタとして提案させてもらいたいのは、まず「SUITA DAY」を1日に集約するのではなく、複数日にわけて分散型で行うこと、時期は9月開催を目標とします。実施場所は、感染予防の観点から「まるたす広場」に限定する、実行委員会は組織せずに、企画が生まれるオープンな場として「誰でも会議」を月1回開催し、小規模で気軽にできる企画を考えていくということです。みなさんご理解いただけたでしょうか。ご質問があればぜひお願いします。

- 自由な感じでやる、というのが難しいですね。団体を代表して参加しているので、自由であるのかな。実際は9月開催として、それまでに4回「誰でも会議」をして、それでイベントができるのかな。
- 自由に何でもと言われるとかえって難しいですかね。大まかな枠とかテーマがあったほうがやりやすいのかもしれない。ご意見ありがとうございます。
- 「SUITA DAY」に向けてプロジェクトを動かすというのもあるのですが、せっかくいろんな団体が集まっているので、例えば「誰でも会議」の中でプレゼンして、お互いの活動を知ること、新しいアイデアやコラボレーションが期待できないかなあと思いました。

**(進行)** コロナ禍では団体さん同士で話し合う機会もなかったですね。

- 全然なかったですね。
- 11月の「考え直してみる DAY」で分散型でという提案がでましたが、確かにその通りだと思いますし、今、子どもがそういう機会を欲しがっているというか。私たちは場所があれば作品をお披露目することができるので、分散型で手作りおもちゃだけをするとか、そういう企画もできると思います。コロナがこういう状況で、適切な時期というのを読めない。9月だから安心なのか、それもわからない。

**(進行)** 正直どうなるかわからないですね。

- とにかく子どもとくっついて作業するので、安全面というのは一番気がかり。コロナが終わっても当分は配慮が必要では。
- 子どもと密接に、お話しをしながら、触れあいながらできないって、寂しいし悲しいことだと思いました。ZOOMを使って、「もしバナゲーム」(※)で人生を語るとか、そういった企画はどうでしょうか。自分の話をするようなイベントだったら、参加した感、聞いてもらった感があるのでは。ZOOMができない人は、WI-FIが使えるラコルタに集まって。サポートやファシリテーションする側の人がとても大変だと思いますけれど、やりとりを大きな画面で流して、それを見た人がオンラインでこんなことができるんだと思ってくれたら。(※もしバナゲーム：余命半年を宣告されたらという前提で人生の最期の在り方を考えるカードゲーム)
- 屋外に出て、希少種の植物を紹介しつつ、それをオンラインで見る、体験するのもいいなあと思いました。そういうことも可能だなと。

**(進行)** オンラインで「SUITA DAY」。

- みなさんのご意見を聞きながら、大規模なイベントができない時期にやるからこそ、意義あるものにしていかなきゃいけないと思いました。ボラフェスが終了して、「SUITA DAY」を立ち上げようという方向転換の流れがあって。普段の活動の紹介だけでは絶対だめ。コロナ禍だからこそそのテーマ、軸をしっかり持つ。ただバラバラと分散するだけではどうなのか。

**(進行)** 分散型で実施日を分けることで、余計に「SUITA DAY」ということがわかりづらくなってしまう可能性もありますね。軸というか、枠組みなのか、その辺がしっかりわか

るような形にする必要がありますね。分散といっても、どういう分散にすればいいのか。

- まずライブ配信やってみるは、アリかと思います。やってみて気づくことがたくさんあるかと。
- おもちゃづくりでも、例えば、作られているところを ZOOM で流して、それを各家庭でお子さんが見て、質問して、完成したらみんなで記念写真を撮るというのができるかも。材料の手配が大変かもしれないけど、どの家庭にもあるような、割りばしや牛乳パックといったもので作れるおもちゃがあれば楽しいのでは。

**(進行)** オンラインも選択肢としてありつつ、「SUITA DAY」はもともと公共空間を市民主体で使おうという趣旨もあったので、その辺が難しいですね。

- 子どもがつくった作品を、公共の場で展示して見られるようにするとか。一か所に据えておいて、リレー形式で作品を作る。1回に入れるのは3人までとかにして、交替で大きなものを作るとか。
- 恐竜を作りたい！
- 大きくて、みんなが「わあっ！」となるようなものもいいですよ。

**(進行)** 金、土、日の3日連続で作るとか。

- ものによっては糊が乾くまで時間がかかる場合もあるし、それなら毎週末とか。
- 参加者の一人になる！

**(進行)** 主催者側も参加者として楽しみたいですね。参加者もちよっと慣れていない人は教える側になるとか。主催者と参加者の垣根を超えるような。

- 制作過程は定点カメラで流しておく。当日の飛び入り枠が1人あるとか。

**(進行)** いろいろ意見ありがとうございました。「誰でも会議」を早速5月15日から始めようと思っていて、これまで「SUITA DAY」に関わっていない方でも、本当に誰でも参加してもらえたらということで、広報用のロゴの案を考えました。ご覧いただけますか。

## 4. 誰でも会議のロゴ決め

### 【ロゴのデザイン案 ABC を共有】

- C案の半円は、もっとはっきり口だとわかったほうがいいのか。？と「しゃべってナンボ」は色を変えてもいいかも。
- どんな路線でいくかですよね。さわやかでかわいいならA案、大阪っぽくいくならC案なのかな。
- 私もC案が面白いかな。A案もいいけど、それだけでは伝わらないので、何かサブタイトルが必要。
- A案はおしゃれでかわいいけど、参加していいのかな？と思う。B案は意見が言えるんだ、C案ならしゃべりにいこう！という気になる。
- 「しゃべってナンボ」の部分の色は変えたほうがいい。B案は「ご意見ちょうだい！」がずっと入ってくる。C案の口がわかりづらいなら目を入れるとか。

**(進行)** 全体的な雰囲気を見ていただいて、どれがいいか投票しましょう！

### 【ZOOMで投票】

**(進行)** 投票の結果、C案をベースに、皆さんが話しやすい雰囲気が伝わるようなイメージをもう少し考えて、決定したいと思います。今後は、月1回の「誰でも会議」で意見を出しあいながら、9月に向けて、コロナ禍でイベントをつくっていくというチャレンジをしていければと思います。オンラインも場合によっては取り入れると可能性も広がるでしょうし、団体さん同士の交流の場もなかなかない状況なので、そういったことも意識しつつ、進めていきたいと思います。「誰でも会議」は、オンラインとリアルと、どちらかをメインにした進行を月ごとに交替する形を想定しています。みなさん今日のご参加ありがとうございました。